

『京都女子大学人文論叢』廃刊のご挨拶

日頃より『京都女子大学人文論叢』にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

大変遺憾ではございますが、『京都女子大学人文論叢』は本号をもって廃刊することとなりました。あわせて、本誌の基盤である京都女子大学人文学会も、2025年度末をもって散会することとなりました。

『京都女子大学人文論叢』は、昭和33年の創刊以来、全74号を発行し、本学における人文系研究の成果を発信してまいりました。とりわけここ数十年は、外国語文学および外国語教育分野の研究成果を公表する重要な場として、その役割を担ってきました。しかしながら、大学を取り巻く近年の厳しい環境のもと、学内の組織改革や予算措置の廃止などの事情により、今後の刊行を継続することが困難となりました。

研究者にとって、研究成果を迅速に公表する場である大学紀要を失うことは、物理的にも精神的にも大きな痛手です。しかしながら、私たちが研究を止めることはありません。今後は発表の場を変え、また新たな場を創出しながら、研究成果の発信を続けていく所存です。引き続き温かく見守っていただきましたら幸いに存じます。

最後になりましたが、これまで『京都女子大学人文論叢』をご観くださり、支え、たずさわってくださったすべての皆様に、心より御礼を申し上げます。また、本誌を通じてつながることができた皆様の、今後のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

京都女子大学人文学会
会長 大谷麻美